

# サンセイランディック (TYO: 3277)

## 待望の新中期経営計画。事業基盤の強化拡大と資本効率の追求を追う内容に

◇ 2024年12月期第2四半期 決算ハイライト：大幅減益を中間配当開始と新たな中期経営計画の発表で打ち返す

サンセイランディック（以下、同社）が2024年8月9日に発表した2024年12月期第2四半期決算は前年同期比で増収減益だった。しかし、当初の会社予想を上回って着地し、一昨年同期と比べても業績は堅調であるため、大局的にみれば成長軌道にあると言えるだろう。

具体的には売上高129.9億円（前年同期比8%増）、営業利益10.2億円（同38%減）、経常利益8.6億円（同39%減）、親会社株主に帰属する中間純利益5.7億円（同39%減）となった。前年同期に売上高、利益が急増していたが、これに対して当期の売上高は居抜き販売の伸びを中心に増収を達成している。しかし利益面においては、一部居抜き案件で低収益案件があったこと、居抜きの売上高構成比率が高まったことから売上総利益が減少し、販売管理費の増加が抑制されたものの、営業利益が減益になった。仕入は71.0億円（同22%減）となったが、前年同期の底地の仕入れが急増した反動と言える。

ただしこの実績は当初の会社予想を上回り（8月7日に2Qに関する修正を発表済み）、さらに2022年第2四半期の実績に対して売上高、売上総利益、営業利益、経常利益がいずれも上回り、仕入は同水準である。俯瞰的にみれば着実な成長軌道にあると言えるだろう。

バランスシートでは、居抜きの販売が進み販売用不動産の残高が前期末比減少し、これに応じて借入金も減少している。

今回の決算は前年同期比でみた大幅な減益が目につくが、同社はこれに対して中間配当の開始（1株当たり16円）、新中期経営計画の発表（後述）などを通して、企業価値および株価に向けて打つべき手を打っていると言えるだろう。

### ◇ 通期見通し：期初計画に変更なし

通期の業績予想、配当について変更はない。売上高237億円（同1%増）、営業利益18億円（同16%減）、経常利益15億円（同15%減）、親会社株主に帰属する当期純利益10億円（同15%減）であり、1株当たり配当は41円（同8円増配；11期連続）である。

第2四半期までの通期予想に対する進捗は5割を超えている。過去3年と比較するとやや低めであるものの、概ね妥当な予想と考えられる。

### ◇ 新中期経営計画：持続的成長基盤の強化と資本効率の改善を両立

上記決算発表にあわせて新中期経営計画が発表された。従来計画の目標値（営業利益18.0億円、経常利益16.5億円、ROE9.0%）を2023年12月期に達成済みのため、次の計画が待たれていた。

新中期経営計画は2024年8月から2027年度までの約3.5年間を対象とし、既存事業（底地、居抜き）の強化、既存事業の周辺領域にある派生事業の事業化、経営基盤強化、株主還元強化とROEの向上が柱である。

2027年12月期の計数目標は営業利益20.0億円、経常利益16.5億円、ROE9.0~12.0%である。利益の牽引役が従来の既存事業が中心であり、目標の利益水準は2023年12月期を超えるものではなく、ROE目標も同社がコロナ禍以前に実現していた水準を超えるものではない。

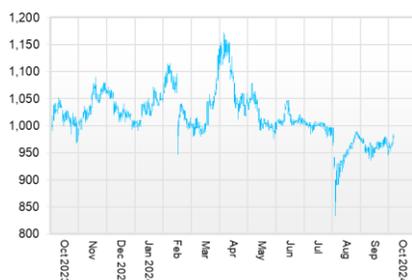
## 2Q決算アップデート

### 不動産

2024年10月7日

<b>株価(10/4)</b>	<b>981円</b>
52週高値/安値	834/1,172円
1日出来高(3ヶ月)	22.2千株
時価総額	84.2億円
企業価値	191.8億円
PER(24/12予)	8.1倍
PBR(23/12実)	0.7倍
予想配当利回り(24/12)	4.2%
ROE(23/12実)	10.2%
営業利益率(23/12実)	9.3%
ベータ(5年間)	0.47
発行済株式数	8,584百万株
上市市場	東証スタンダード

### 株価パフォーマンス



%	1M%	3M%	12M%
Share price	1.03	-2.00	-4.29
Japan TSE TOPIX	-1.43	-6.20	18.40

### 注目点

当面の注目点は優良な仕入が進み通期予想の達成確度が高まるか。中期的な観点では既存事業の基盤強化が財務数値をどのように牽引するか、派生事業および地域活性化推進事業の事業ポテンシャルがいつどのように可視化されるのか、追加の株主還元策がいつ提示されるのかである。

当レポート(決算アップデート)は、サンセイランディックの依頼を受けて作成しております。詳しくは、最終ページのディスクレームを参照ください。

# サンセイランディック (TYO: 3277)

このようにこの計画は計数的に消極的な印象を拭えない。しかし、以下の諸点を考慮すると、現実的な内容として評価できる内容である。

第一に、短期的に変動が大きい不動産フロービジネスを進める同社は、外部環境に対してレジリエントで安定的な成長を目指すほうが、業績拡大に軸足を置きすぎる場合よりも合理的な事業方針であると考えられるからである。金利上昇、建築コストの上昇など今後の事業環境には懸念すべき要因が出てきている。このため、業績拡大に軸足を置きすぎて業績のボラティリティを高めることになったり過剰なリスクを抱えることになるよりも、コアである既存事業の実力アップと着実な業績拡大を目指す方が、業績の安定度が高まり、派生事業推進の体力も温存され、さらに資本コストの低下につながる公算もあるといえるだろう。

なお、同社によれば、コア事業である不動産の権利調整に関連する事業ポテンシャル、および競争状況が悪化しているわけではないとのことである。

第二に、既存事業の強化に関して、底地事業ではエリア拡大を、居抜き事業では査定方法の平準化・精緻化の推進を行う予定であり、その方策が明確であるからである。さらにこれまでの取引事例のデータが整い、その分析結果を地域特性を踏まえて業務推進の場で適用する体制が構築されつつある。労働生産性の向上を進めるために後方事務の効率化・コスト最適化をすすめる準備もできている。このため、従来にも増して収益の安定的な成長が期待できそうだ。

第三に、資本コストや株価を意識した経営の実現について前向きな取り組みが示されているからである。同社は、ROEが株主資本コストの推計値6~7%を上回っているにもかかわらずPBRが0.6~0.7倍にあることを課題として認識し、収益性と資本効率性の向上、成長を加速するための取組みにより、企業価値の向上を目指すことにした。特に注目すべきはROEの目標を9~12%という同社がコロナ禍前に実現していた水準に設定し、株主還元策として配当性向の目標を30%以上に設定（当期予想33.7%）、1株当たり配当を40円を下限とし段階的に引き上げる予定であること、2025年~2027年において配当約10億円に加えて総額5~15億円程度の自己株式取得も計画していることである。この原資として、営業CFに加えて負債等の資金調達も念頭に置かれている。これは総還元性向が50%~80%程度になることを示唆しており、利益目標とROE目標から導かれる自己資本の水準は現状から大幅に増えないことが示唆される。このように、この計画はROEの引き上げとPBRの改善を明確に企図しており、近年の日本の株式市場で成果が生まれつつある資本コスト経営の実装の新たな好事例になりうると考えられる。

## ◇株価動向と今後の注目点

株価は5月中旬以降1000円で推移、8月月初の世界的な株価下落につれて一時834円まで下落したがその後持ち直し、この決算および中期経営計画の発表後もしっかりと推移し足元では1000円をやや下回る水準にある。予想PERは約8倍、PBRは0.64倍、予想配当利回りは4.2%程度であり株価に過熱感はない。

当面の注目点は優良な仕入が進み通期予想の達成確度が高まるか。

中期的な観点では既存事業の基盤強化が財務数値をどのように牽引するか、派生事業および地域活性化推進事業の事業ポテンシャルがいつどのように可視化されるのか、追加の株主還元策がいつ提示されるのかである。

## 会社概要

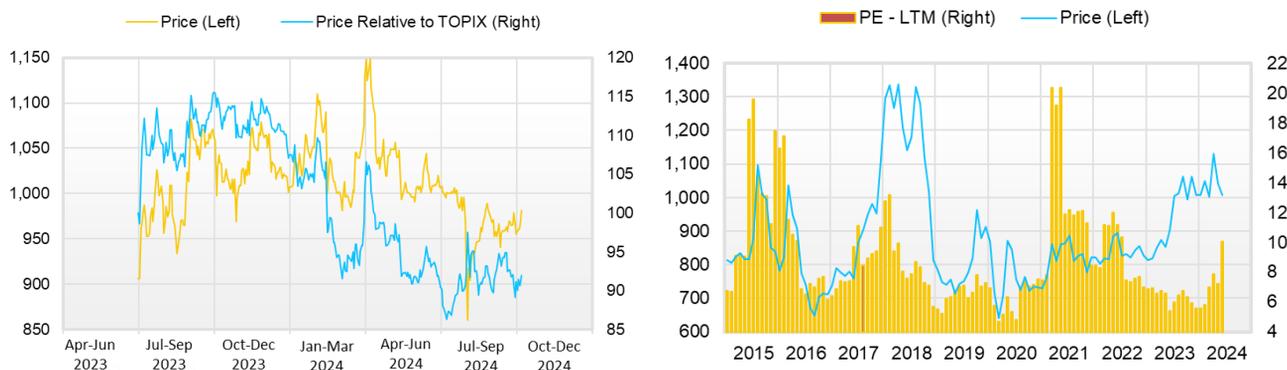
**株式会社サンセイランディック株式会社**（以下、同社）は、不動産権利調整ビジネスを全国に展開。底地と居抜き案件中心に仕入れた物件の権利調整などを行い転売することで収益を上げており、ニッチ市場で安定的な収益機会を実現している。2024年8月には、2024年8月から2027年度を対象とする新中期経営計画を発表し、成長戦略と資本効率の改善によってROE、およびPBRの向上が期待されている。

## 主要財務データ

単位: 百万円	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12 会社予想
売上高	18,020	17,775	16,836	15,533	23,269	23,700
EBIT（営業利益）	1,861	847	1,118	1,469	2,155	1,800
税引前収益	1,759	712	1,004	1,270	1,756	1,500
親会社株主帰属利益	1,159	358	609	1,060	1,183	1,000
現金・預金	4,134	4,330	5,361	3,837	3,770	
総資産	19,294	20,071	20,051	28,977	30,976	
債務合計	16,879	16,879	16,879	16,879	16,879	
純有利子負債	13,109	13,109	13,109	13,109	13,109	
負債総額	9,399	10,004	9,749	17,921	18,899	
株主資本	12,077	12,077	12,077	12,077	12,077	
営業活動によるキャッシュフロー	-420	-917	1,705	-9,268	-12	
設備投資額	304	304	304	304	304	
投資活動によるキャッシュフロー	-71	-288	-51	-267	-766	
財務活動によるキャッシュフロー	984	953	-608	7,971	303	
フリーキャッシュフロー	-291	-291	-291	-291	-291	
ROA (%)	6.42	1.82	3.04	4.32	3.95	
ROE (%)	12.32	3.58	5.98	9.93	10.23	
EPS (円)	137.1	42.3	73.6	129.6	143.8	121.4
BPS (円)	1,170.2	1,192.9	1,249.5	1,356.8	1,465.5	
一株当たり配当 (円)	23.00	25.00	26.00	28.00	33.00	41.00
発行済み株式数（百万株）	8.46	8.47	8.47	8.49	8.58	

出所：Omega Investment 作成、小数点以下四捨五入

## 株価推移





## 2024年12月期第2四半期業績動向

前述の通り、2024年12月期第2四半期の業績は前年同期比増収ながら減益になったが、一昨年度の水準は上回っている。以下で確認いただきたい。

### 業績動向



- 売上及び利益は、計画を上回り順調に進捗

(単位:百万円)

	22/2Q	23/2Q	24/2Q		
	実績	実績	計画	実績	差異
売上高	8,165	11,980	11,700	12,991	+1,291
売上総利益	2,708	3,801	—	3,243	—
販管費	1,795	2,144	—	2,217	—
営業利益	913	1,656	1,000	1,025	+25
経常利益	832	1,423	830	861	+31
親会社株主に帰属する 中間純利益	713	939	550	573	+23

3

出所：同社資料より

### 事業別販売実績



(単位:百万円)

	22/2Q	23/2Q	24/2Q		
	実績	実績	計画	実績	計画比
不動産 販売事業	7,943	11,980	11,700	12,991	+11.0%
底地	3,587	4,966	5,339	4,775	△10.6%
居抜き	3,580	6,204	5,458	7,470	+36.8%
所有権	581	605	679	528	△22.2%
その他	194	202	221	217	△2.0%

- 底地  
利益が計画を大幅に上回る  
前年同期比 △3.8%
- 居抜き  
売上及び利益は計画を上回る  
前年同期比 +20.4%
- 所有権  
利益及び利益率は計画を上回る  
前年同期比 △12.8%

5

出所：同社資料より



## 2024年12月期第2四半期業績動向（続き）

### 事業別仕入実績



(単位:百万円)

	21/2Q	22/2Q	23/2Q	24/2Q	
	実績	実績	実績	実績	前年同期比
不動産 販売事業	4,491	7,070	9,136	7,103	△22.3%
底地	2,126	2,398	5,393	2,367	△56.1%
居抜き	2,299	4,192	3,427	4,028	+17.5%
所有権	65	479	315	706	+123.9%

■仕入れについて  
年間仕入高計画 158億円  
居抜きの仕入が増加  
底地の仕入は、前年が大型物件の仕入により大幅に増加したことから前年同期比で減少したものの、一昨年以前と比較して順調に推移  
また、足元で底地を含む大型物件の案件情報が増加

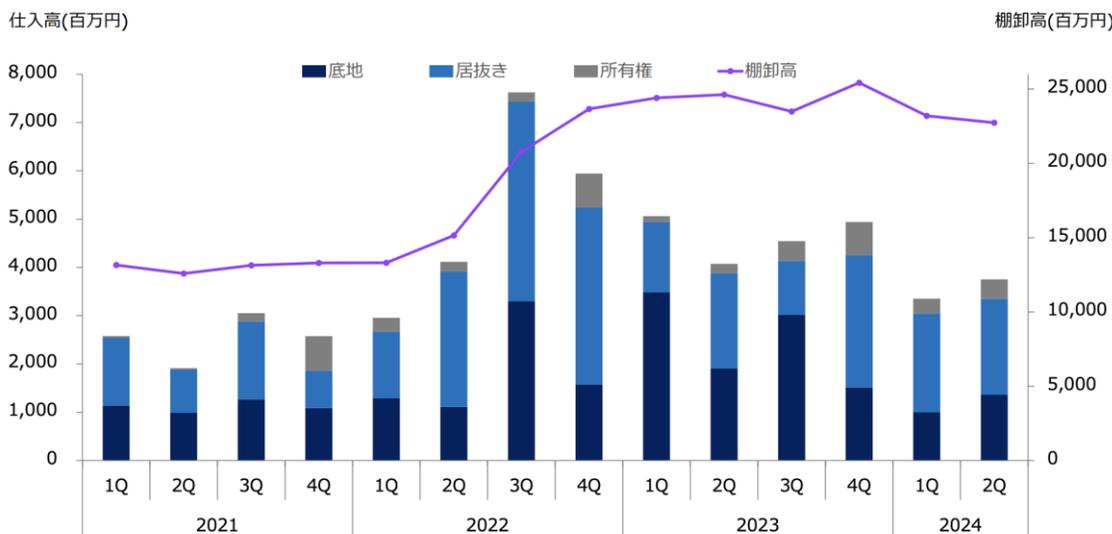
7

出所：同社資料より

### 仕入高・棚卸高の推移



- 販売活動が進捗したことにより棚卸高は減少するものの、依然として高い水準を維持



8

出所：同社資料より



## 中期経営計画

### サンセイランディックの経営の基本方針



#### 企業理念

##### 人と人の未来を繋ぐ先駆者となる

私たちは今まで不動産の既存概念を打ち破って成長してきました  
その中で培ったノウハウを最大限に活用し、世界中と繋がりを持ち、生み出される不均衡を解消します  
また、「災害・高齢化・貧困・環境問題」など社会課題と真摯に向き合い、社会に潤いや豊かさを提供する企業であり続ける

#### 長期ビジョン

##### 不動産に関する幅広い社会課題の解決

底地・居抜をはじめとした権利関係で困っている様々な物件を、  
幅広い事業メニューと他社にはない人間力・提案力で安心・安全・丁寧な取引を実現して解決する会社、  
としての認知が世間一般に広がり、日本全国から相談が寄せられ、これを解決している状態を目指す

#### 新中期経営計画（2024年8月～2027年12月）

底地・居抜き事業の  
さらなる強化

底地・居抜き事業から  
派生事業\*への展開

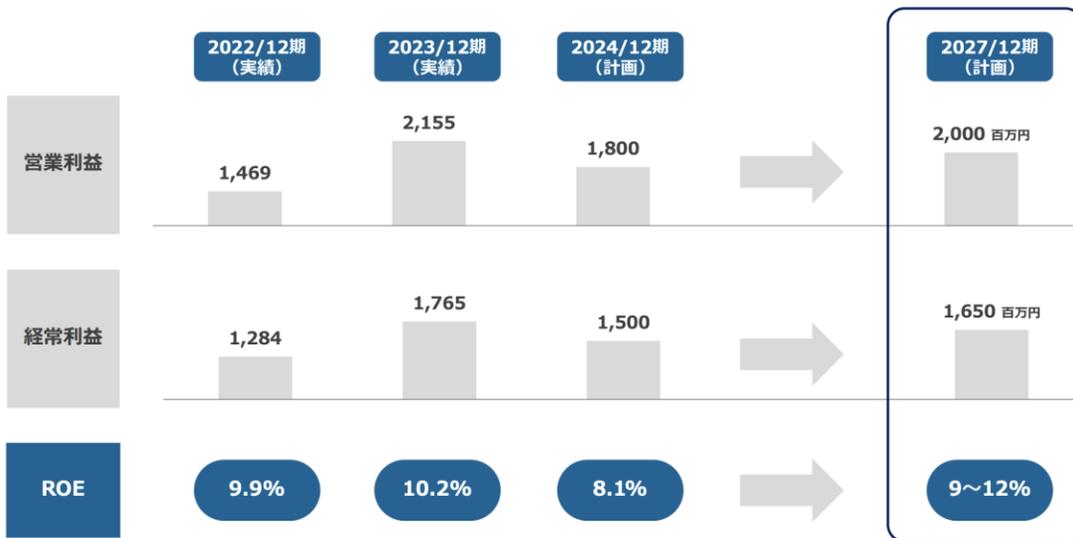
地域活性化推進事業の  
事業基盤の確立

\* 派生事業は、当社に案件情報は入ってきているものの、これまでスケール化・事業化できていない事業（既存少数・既存ゼロ事業）

2

出所：同社資料より

### 経営目標



5

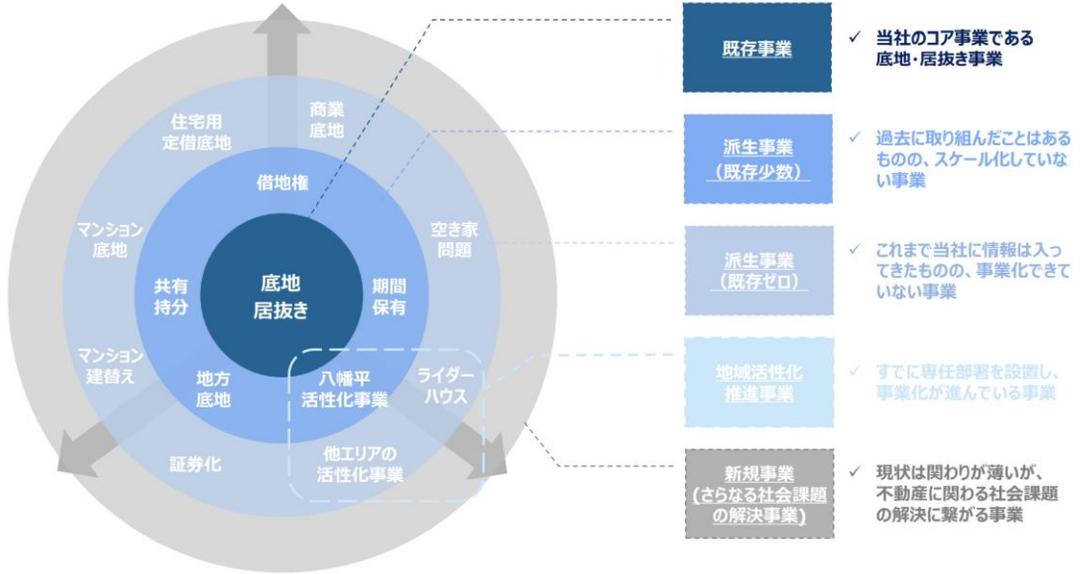
出所：同社資料より



## 中期経営計画（続き）

### 事業ポートフォリオの拡大

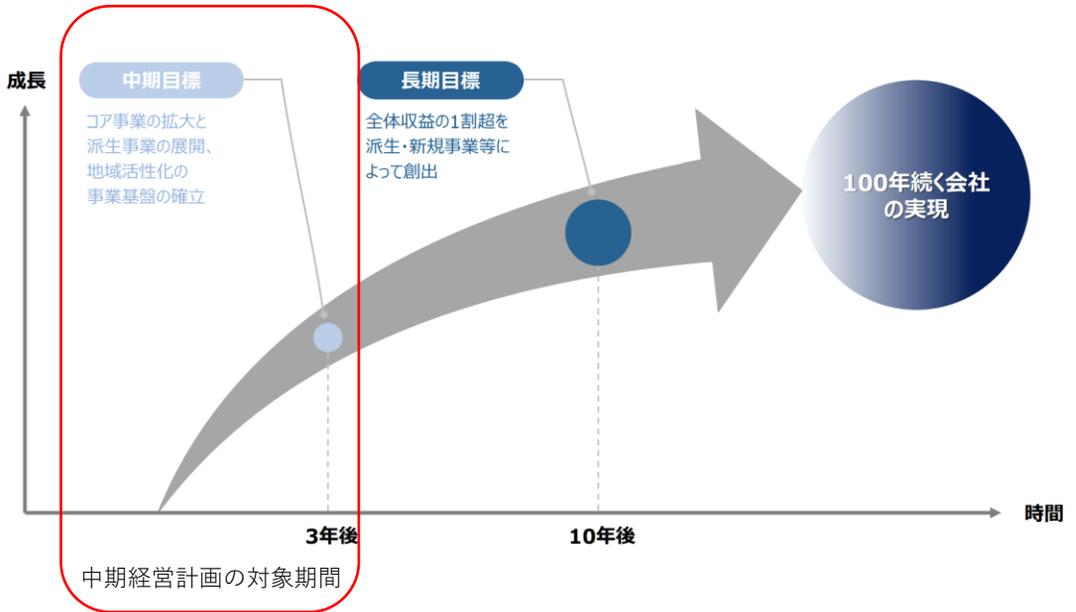
事業戦略  
財務戦略  
非財務戦略



出所：同社資料より

### 成長イメージ

事業戦略  
財務戦略  
非財務戦略



出所：同社資料より



## 中期経営計画（続き）

### 既存事業の強化：事業方針サマリー

事業戦略
財務戦略
非財務戦略

区分	方針
既存事業	<b>底地事業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>強化エリアを定め、その上で市場・顧客特性を踏まえた戦略を構築・実行し、件数・利益の拡大を図る</li> <li>人口動態や顧客の意識変化を加味して査定方法・利益計上ロジックの精緻化を図り、競争優位性を高める</li> </ul>
	<b>居抜事業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>市況の変化、競合環境の変化に柔軟に対応するため、査定方法の平準化・精緻化を推進する</li> <li>各部支店の課題解消を図ることで着実な事業の拡大を図る</li> </ul>
既存少数・既存ゼロ事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存事業に次ぐ三の矢、四の矢、さらにその先を創出すべく、スケール化の可能性の高いものから順次展開を図る</li> <li>既存事業のフロー性を補完すべく、ストック性のある事業による積上げも目指す</li> </ul>

10

出所：同社資料より

### 非財務戦略：重点施策

事業戦略
財務戦略
非財務戦略

ガバナンス体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会・事業環境の急激な変化に対するリスク評価と対応策の策定</li> <li>役員研修を含むサクセッションプランの策定</li> </ul>
IR・PR戦略の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>全社的なブランディング戦略の構築</li> <li>ブランディング戦略に基づいた、IR・PRそれぞれのマーケティング戦略の構築</li> </ul>
コスト効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>自社のコスト構造と課題の把握</li> <li>経費の投下に対する効果・効率性等も考慮しながら、経費計画の見直しを実施</li> <li>経費の削減ではなく、経費の増加率を抑制することによって利益率の増加を図る</li> </ul>
業務効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>バックオフィスを中心に業務を見直し、既存の人員数で業容拡大に対応できる体制を構築</li> <li>営業人員が営業に集中できる体制を作るため、営業事務の負担を軽減</li> <li>DXを含めて、新たな仕組みを社内全体に導入していくことを検討</li> </ul>

21

出所：同社資料より



## 中期経営計画（続き）

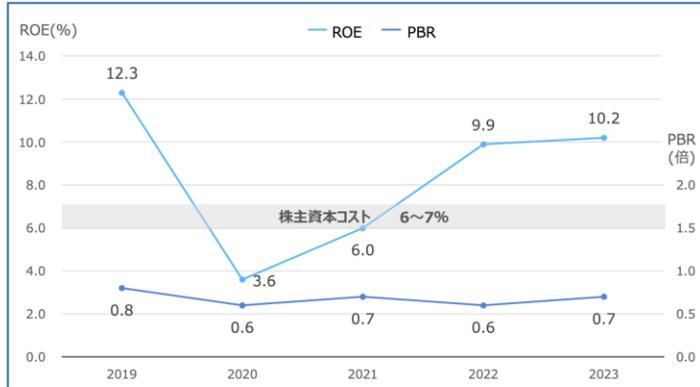
### 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応 1/2

事業戦略  
財務戦略  
非財務戦略

Sansei Landic

#### 現状認識

- 足元のPBRは、0.6~0.7倍の水準
- ROEは、直近実績10.2%まで向上し、CAPMベースの株主資本コスト（6~7%程度）を上回る水準
- PBR1倍割れの主な要因として、より具体的な成長戦略を十分に説明できていなかったこと、株主還元において適正な水準を満たしていなかったこと等と認識



出所：同社資料より

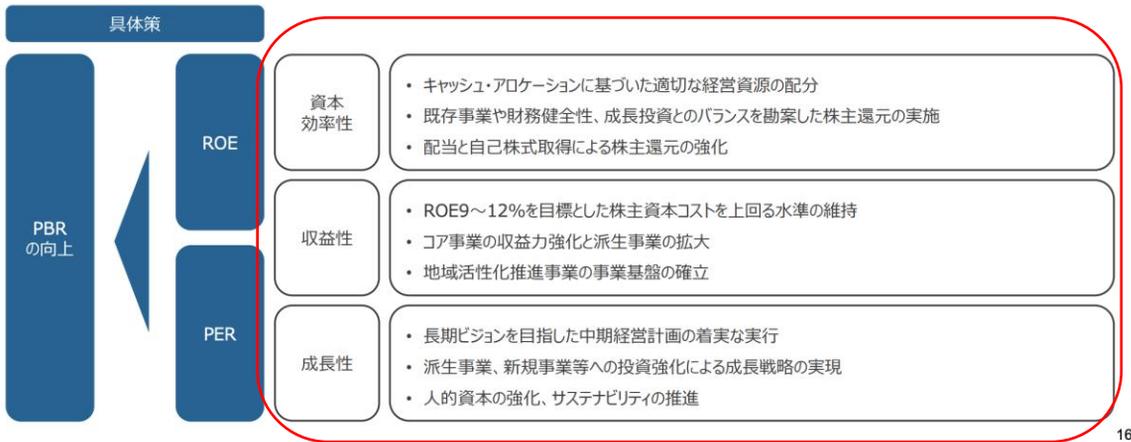
### 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応 2/2

事業戦略  
財務戦略  
非財務戦略

Sansei Landic

#### 取組方針

- 中期経営計画の取組みを進め、資本コストや株価を意識した経営を本格化させる
- 収益性と資本効率性の向上、成長を加速するための取組みにより、企業価値の向上を目指す



出所：同社資料より



## 中期経営計画（続き）

### 財務戦略：重点施策

事業戦略  
**財務戦略**  
 非財務戦略



キャッシュの創出	営業CFの安定創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 既存事業における棚卸資産回転率の適正化による営業CFの創出</li> <li>- 創出されたキャッシュを次の成長事業に投資</li> </ul>
	資金調達方法の多様化	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 既存の金融機関以外からの資金調達方法の検討</li> <li>- クラウドファンディングの拡大</li> <li>- 不動産特定共同事業法を活用した資金調達方法の検討・実施</li> </ul>
株主還元強化	財務の安定性と最適資本配分の両立	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 持続的な企業活動のために、財務の安定性を維持したうえで、創出されたキャッシュを積極的に株主還元へ配分</li> </ul>
	新たな取組みとして配当性目標を導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 株主還元の新たな取組みとして、配当性目標を「30%以上」に設定</li> <li>- 1株当たり40円を下限とし、段階的に引き上げ</li> </ul>
	最適資本の構築に向けた自己資本圧縮	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 総額5～15億円程度の自己株式取得を計画。資本コストを上回る成長事業への投資案件が出てきた場合には、企業価値向上の観点で最適な資金配分を検討</li> <li>- 保有する自己株式は、償却やM&amp;Aへの活用を含めて検討する</li> </ul>

出所：同社資料より

## 財務データ | (四半期ベース)

単位: 百万円	2022/12期			2023/12期				2024/12期	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
[損益計算書]									
売上高	3,721	3,096	4,272	6,486	5,494	7,485	3,804	7,207	5,785
前年同期比	-0.6%	-24.3%	17.4%	45.9%	47.6%	141.8%	-11.0%	11.1%	5.3%
売上原価	2,310	1,964	3,065	4,320	3,858	5,681	3,067	5,521	4,228
売上総利益	1,411	1,132	1,207	2,166	1,635	1,803	737	1,686	1,558
粗利率	37.9%	36.6%	28.2%	33.4%	29.8%	24.1%	19.4%	23.4%	26.9%
販管費	945	845	938	1,048	1,097	1,128	914	1,115	1,102
EBIT (営業利益)	466	287	269	1,118	539	676	-177	571	455
前年同期比	189.9%	-15.1%	197.7%	150.0%	15.6%	135.5%	-165.8%	-49.0%	-15.5%
EBITマージン	12.5%	9.3%	6.3%	17.2%	9.8%	9.0%	-4.7%	7.9%	7.9%
EBITDA	476	297	286	1,145	559	692	-161	587	476
税引前収益	399	231	205	1,046	378	587	-254	493	369
当期利益	338	196	151	684	256	387	-144	328	245
少数株主損益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
親会社株主帰属利益	338	196	151	684	256	387	-144	328	245
前年同期比	326.0%	34.7%	145.2%	82.2%	-24.4%	97.9%	-195.1%	-52.0%	-4.0%
利益率	9.1%	6.3%	3.5%	10.5%	4.7%	5.2%	-3.8%	4.6%	4.2%
[貸借対照表]									
現金・預金	5,787	4,979	3,837	3,569	4,266	5,388	3,770	4,479	4,988
総資産	22,679	27,509	28,977	29,627	30,777	30,632	30,976	30,487	30,561
債務合計	7,885	12,757	16,399	16,061	16,520	16,262	16,879	16,787	16,211
純有利子負債	2,098	7,778	12,562	12,493	12,254	10,874	13,109	12,308	11,223
負債総額	11,986	16,622	17,921	18,064	18,944	18,412	18,899	18,354	18,163
株主資本	10,693	10,886	11,056	11,563	11,833	12,220	12,077	12,133	12,398
[収益率 %]									
ROA	4.48	4.10	4.32	5.50	4.81	5.08	3.95	2.75	2.66
ROE	8.85	9.19	9.93	12.43	11.42	12.79	10.23	6.98	6.74
[一株当たり指標: 円]									
EPS	41.2	24.1	18.6	83.5	31.0	47.0	-17.4	39.8	29.7
BPS	1,316.2	1,340.3	1,356.8	1,406.1	1,435.9	1,482.9	1,465.5	1,472.3	1,501.2
一株当たり配当	26.00	26.00	28.00	28.00	28.00	28.00	33.00	33.00	33.00
発行済み株式数 (百万株)	8.48	8.48	8.49	8.58	8.58	8.58	8.58	8.58	8.58

出所：Omega Investment 作成

## 財務データⅡ (通期ベース)

単位: 百万円	2013年 12月期	2014年 12月期	2015年 12月期	2016年 12月期	2017年 12月期	2018年 12月期	2019年 12月期	2020年 12月期	2021年 12月期	2022年 12月期	2023年 12月期
[損益計算書]											
売上高	9,189	10,446	11,569	12,300	13,099	16,833	18,020	17,775	16,836	15,533	23,269
前年同期比	-3.0%	13.7%	10.8%	6.3%	6.5%	28.5%	7.1%	-1.4%	-5.3%	-7.7%	49.8%
売上原価	6,254	7,055	7,798	8,344	8,566	12,028	12,902	13,788	12,468	10,486	16,927
売上総利益	2,935	3,391	3,770	3,957	4,532	4,805	5,119	3,986	4,368	5,047	6,342
粗利率	31.9%	32.5%	32.6%	32.2%	34.6%	28.5%	28.4%	22.4%	25.9%	32.5%	27.3%
販管費	2,034	2,204	2,216	2,295	2,434	2,702	2,891	2,750	2,877	3,031	3,569
EBIT (営業利益)	902	1,187	1,300	1,446	1,762	1,766	1,861	847	1,118	1,469	2,155
前年同期比	74.3%	31.6%	9.6%	11.2%	21.9%	0.2%	5.4%	-54.5%	31.9%	31.5%	46.7%
EBITマージン	9.8%	11.4%	11.2%	11.8%	13.5%	10.5%	10.3%	4.8%	6.6%	9.5%	9.3%
EBITDA	968	1,260	1,406	1,532	1,833	1,822	1,912	896	1,161	1,517	2,236
税引前収益	810	1,044	1,196	1,329	1,672	1,539	1,759	712	1,004	1,270	1,756
当期利益	456	626	724	854	1,111	1,007	1,159	358	609	1,060	1,183
少数株主損益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
親会社株主帰属利益	456	626	724	854	1,111	1,007	1,159	358	609	1,060	1,183
前年同期比	95.4%	37.5%	15.6%	17.9%	30.2%	-9.4%	15.1%	-69.1%	70.5%	73.9%	11.6%
利益率	5.0%	6.0%	6.3%	6.9%	8.5%	6.0%	6.4%	2.0%	3.6%	6.8%	5.1%
[貸借対照表]											
現金・預金	1,186	2,276	2,254	2,435	3,558	3,594	4,134	4,330	5,361	3,837	3,770
総資産	8,919	8,793	11,398	10,833	16,916	16,777	19,294	20,071	20,051	28,977	30,976
債務合計	3,780	2,414	3,958	2,712	7,439	6,048	7,203	8,342	8,108	16,399	16,879
純有利子負債	2,594	139	1,704	277	3,881	2,454	3,069	4,012	2,747	12,562	13,109
負債総額	5,051	3,531	5,363	3,977	8,909	7,869	9,399	10,004	9,749	17,921	18,899
株主資本	3,868	5,262	6,034	6,856	8,006	8,908	9,895	10,067	10,302	11,056	12,077
[キャッシュフロー計算書]											
営業活動によるキャッシュフロー	-664	1,761	-1,451	1,611	-3,666	1,617	-420	-917	1,705	-9,268	-12
設備投資額	97	91	58	111	57	66	61	21	40	28	304
投資活動によるキャッシュフロー	-175	-111	-116	-184	107	-64	-71	-288	-51	-267	-766
財務活動によるキャッシュフロー	1,136	-612	1,588	-1,278	4,667	-1,495	984	953	-608	7,971	303
フリーキャッシュフロー	-714	1,697	-1,491	1,536	-3,692	1,572	-446	-923	1,682	-9,282	-291
[収益率 %]											
ROA	5.69	7.07	7.17	7.68	8.01	5.98	6.42	1.82	3.04	4.32	3.95
ROE	12.48	13.72	12.82	13.24	14.96	11.90	12.32	3.58	5.98	9.93	10.23
[一株当たり指標: 円]											
EPS	66.0	90.2	90.1	104.9	134.4	119.6	137.1	42.3	73.6	129.6	143.8
BPS	560.5	664.8	744.2	841.3	958.0	1,054.5	1,170.2	1,192.9	1,249.5	1,356.8	1,465.5
一株当たり配当	3.00	6.00	10.00	12.00	18.00	21.00	23.00	25.00	26.00	28.00	33.00
発行済み株式数 (百万株)	6.90	7.91	8.11	8.15	8.35	8.45	8.46	8.47	8.47	8.49	8.58

出所: Omega Investment 作成



## General disclaimer and copyright

本レポートは当該企業への取材や決算資料等を元に作成・表示したのですが、その内容及びデータの正確性、完全性、信憑性を保証するものではありません。本レポートは、情報提供のみを目的としており、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。オメガインベストメントは、本レポートの使用により発生した結果について一切の責任を負うものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への取材を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はオメガインベストメントの Recherche によるものです。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はオメガインベストメントに帰属します。配布、譲渡、複製、及び転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。